

株式会社ソフトフロント
代表取締役社長 阪口 克彦
(証券コード番号:2321)

次世代画像検索・解析技術が、 経済産業省の平成20年度 情報大航海プロジェクトに採択 ～「View サーチ北海道」の開発成果が、「サービス共通技術の改良」事業に選定～

株式会社ソフトフロント(東京本社:東京都港区、代表取締役社長:阪口 克彦 以下、ソフトフロント)が、株式会社データクラフト(本社:札幌市北区、代表取締役:高橋 昭憲氏)と共同で提案した次世代画像検索・解析技術が、経済産業省の平成20年度 情報大航海プロジェクト(*)「サービス共通技術の改良」事業に採択されました。

平成20年度 情報大航海プロジェクトは、Web 情報に留まらず実世界情報も含めて、多種多様な大量の情報の中から必要な情報を的確に検索・解析する次世代検索・解析技術を開発・実証し、汎用化してオープンに利用できる共通基盤の構築を進めています。

このような中、実証事業に直結した実用技術であり、汎用性・共通性が高く、次世代検索・解析技術として抽出・共通化されるべき技術を「サービス共通技術」として、研究開発に取り組んでいます。

このたび採択された技術は、平成19年度 情報大航海プロジェクト「モデルサービスの開発と実証」研究事業に採択された「View サーチ北海道」の開発成果が基となっています。

今年度は、「View サーチ北海道」を通して開発された次世代画像検索・解析技術を「サービス共通技術」として更に深め、多くの企業などへの利用を促進すると共に、市場における新たな価値と産業の創出を目指しています。

●「サービス共通基盤」として採択された技術

1. 画像特徴量の抽出エンジン

高速に大量の画像の特徴量を抽出し、画像間の類似性を計算します。多量の画像群のナビゲーションなど、新たなヒューマンインタフェースとユーザー体験を可能にする技術です。

2. 画像類似性判定エンジン

「画像特徴量の抽出エンジン」および画像データベースを利用しながら、与えられたクエリー画像から類似画像を順位付きで高速に検索する機能です。

3. 映像のシーンカット・エンジン

多量の映像に効率よくアクセスするために、構造化と自動タグ付けを実現します。

■用語説明

(*)情報大航海プロジェクト

情報の種類に依らず大量の情報の中からユーザーが求める情報を的確に検索・解析する共通技術(「知的情報アクセス技術」)の開発を目的として、経済産業省が主導で、産学官連携によるオールジャパンとして開発を進めるプロジェクト

※ 記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。
※ 掲載文中では、TM、(R)マークは原則として明記していません。

【プロフィール】

株式会社ソフトフロント

1997年設立の SIP と VoIP を核技術としたソフトウェア開発企業です。IP 電話や第三世代携帯電話で通信プロトコルとして採用されている SIP に早くから注目し、SIP/VoIP 関連技術の開発に注力してまいりました。現在は、今まで培ってきた様々な技術やノウハウをもとに、NGN(次世代 IP ネットワーク)構想の本格化にあわせ、携帯電話などの各種通信機器メーカー、情報家電機器メーカーや通信事業者に SIP/VoIP ミドルウェア・ソリューションの提供を行い、競争力の高い最終製品/サービスの効率的な開発を支援しております。

URL: <http://www.softfront.co.jp>

【リリースに関するお問合せ先】

株式会社ソフトフロント

経営企画室 広報担当 中村

電話:03-3568-7007 FAX:03-3568-7008

E-mail:press@softfront.co.jp